第26巻第29号　［宮崎県第29週　(7/15～7/21)　全国第28週（7/8～7/14）］　令和6年7月25日

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第29週の発生動向

□　全数報告の感染症（29 週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 8 例。3 類感染症：報告なし。
4 類感染症：報告なし。5 類感染症：梅毒 2 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			80歳代	女	肺結核	咳
			90歳代	女	左結核性胸膜炎	呼吸困難
		高千穂	60歳代	男	無症状病原体保有者	なし
5類	梅毒	宮崎市	20歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹

□　定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,434 人(定点当たり 50.1)で、前週比 91%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患はＲＳウイルス感染症、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 1,724 人(29.7)で、前週比 101%とほぼ横ばいであった。延岡(55.9)、中央(40.0)、高千穂(34.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 4 割を占めた。

【ＲＳウイルス感染症】

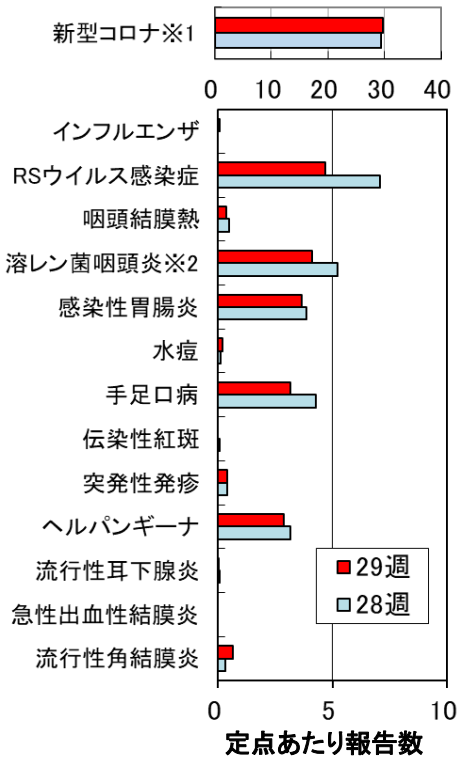
報告数は 169 人(4.7)で、前週比 67%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 3.1 倍であった。中央(12.0)、宮崎市(7.9)、日南(6.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 113 人(3.1)で、前週比 74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約 2 倍であった。日向(5.5)、都城(4.2)、中央(4.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 3 歳が全体の約 8 割を占めた。

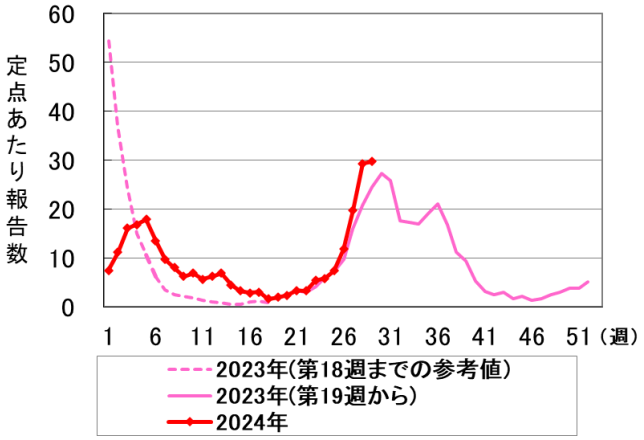
＊　過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

《前週との比較》

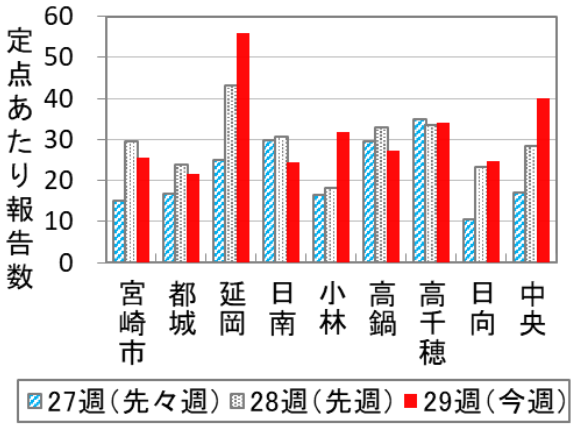


※1 新型コロナウイルス感染症
※2 Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症　発生状況

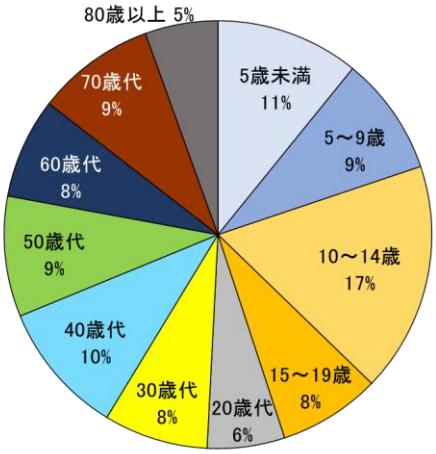


新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

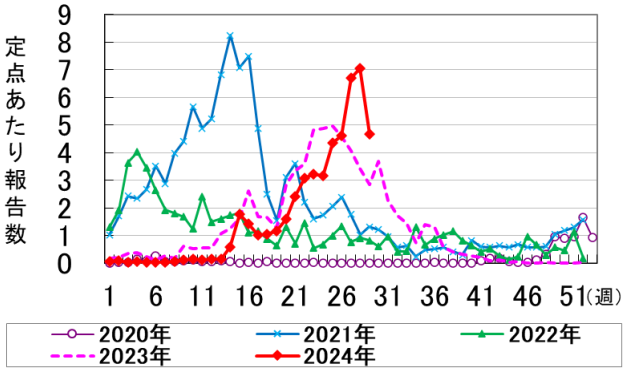


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

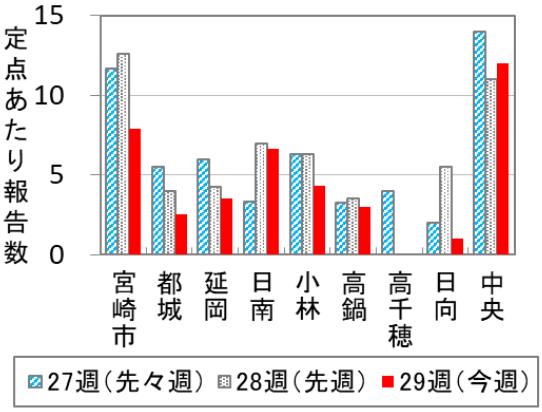
新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 29 週)



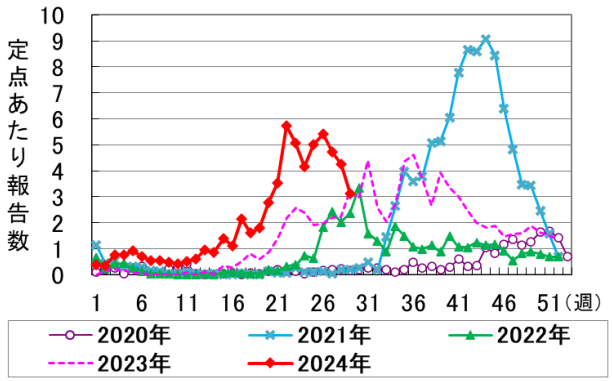
ＲＳウイルス感染症　発生状況



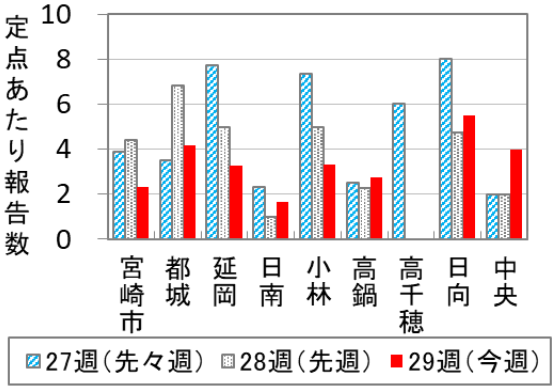
ＲＳウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



手足口病　発生状況



手足口病
保健所別推移(3 週分)



★基幹定点からの報告★
○マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から報告があり、年齢は 10～14 歳であった。

★保健所別　流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	ヘルパンギーナ(7.0)
延岡	なし
日南	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.7)
小林	ヘルパンギーナ(8.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	手足口病(5.5)
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊
・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
・手足口病(5)
・ヘルパンギーナ(6)

口病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部　令和 6 年 7 月 22 日までに検出）

★細菌　報告なし

★ウイルス

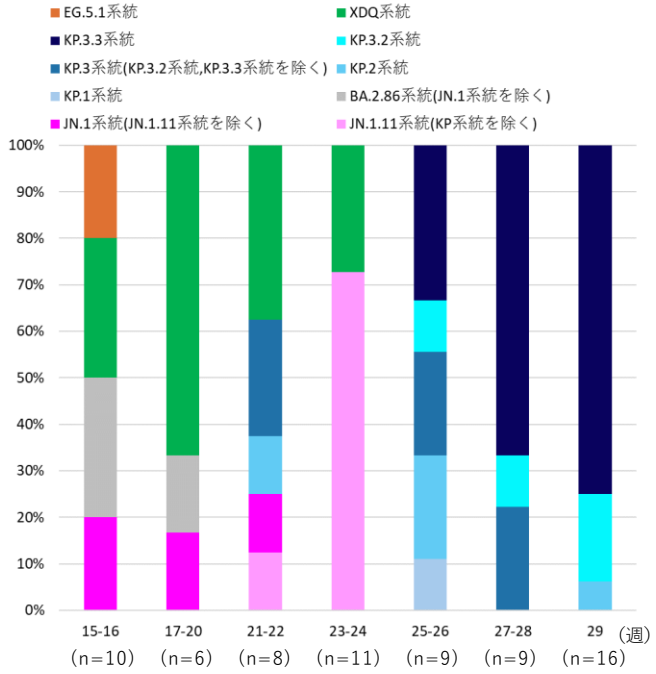
同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Coxsackievirus A6	40歳代	男	2024.05.13	麻疹疑い、37.5℃、発疹	咽頭ぬぐい液 尿	2024.07.22
Parainfluenza virus 3	0～4歳	女	2024.06.03	急性気管支炎、39.0℃	鼻汁	2024.07.22
Parainfluenza virus 3	0～4歳	男	2024.06.12	呼吸不全、39.0℃、下気道炎(肺炎)	咽頭ぬぐい液 気管吸引液	2024.07.22
Influenza virus A H1pdm09	40歳代	男	2024.06.18	インフルエンザA型、40.2℃、頭痛、関節痛、咽頭痛、咳、鼻水	咽頭ぬぐい液	2024.07.22

○下気道炎の症状を呈する患者 2 名から Parainfluenza virus 3 が検出された。ヒトパラインフルエンザウイルス（human parainfluenza virus: HPIV）は小児の急性呼吸器感染症の原因ウイルスの 1 つであり，HPIV1 型から HPIV4 型の 4 つの型に分類される。

HPIV3 型は伝播力が強く，毎年初夏～秋にかけて検出報告が増加する傾向にある。飛沫感染により伝播し，2～6 日の潜伏期を経て発熱，咳，上気道炎などを引き起こす。

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第 29 週で KP. 3. 3 系統が 75%、KP. 3. 2 系統が約 19%を占めている。

※KP 系統は JN. 1. 11. 1 の子孫株で、現在、日本、欧米で流行している。
ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。
衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 28 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし						
2類感染症	結核	248 例					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	107 例	腸チフス	1 例			
4類感染症	E型肝炎	10 例	A型肝炎	2 例	オウム病	1 例	
	重症熱性血小板減少症候群	3 例	チクングニア熱	1 例	つつが虫病	2 例	
	デング熱	2 例	日本紅斑熱	5 例	マラリア	2 例	
	ライム病	1 例	レジオネラ症	90 例			
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	4 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	29 例	
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	4 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	28 例	
	後天性免疫不全症候群	7 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例	
	水痘（入院例）	4 例	梅毒	147 例	播種性クリプトコックス症	2 例	
	破傷風	2 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	55 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 115%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、ＲＳウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 55,072 人(11.2)で前週比 139%と増加した。鹿児島県(31.8)、佐賀県(29.5)、宮崎県(29.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

ＲＳウイルス感染症の報告数は 5,763 人(1.8)で前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(2.2)の約 0.9 倍であった。宮崎県(7.1)、長崎県(6.3)、佐賀県(6.3)、鹿児島県 (5.6)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

手足口病の報告数は 41,885 人(13.3)で前週比 116%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.0)の約 4.5 倍であった。三重県(33.7)、富山県(21.9)、埼玉県(21.8)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 4 歳が全体の約 7 割を占めた。

＊ 過去 5 年間の当該週、前週、後週（計 15 週）の平均

宮崎県 感染症情報　（71定点医療機関 ）　2024年 第29週（07月15日～07月21日）

疾病名		第28週	第29週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数		4	1	2	1						
	定点当り	0.00	0.07	0.06	0.20	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	1702	1724	409	215	391	122	127	164	68	148	80
	定点当り	29.34	29.72	25.56	21.50	55.86	24.40	31.75	27.33	34.00	24.67	40.00
RSウイルス感染症	報告数	254	169	79	15	14	20	13	12		4	12
	定点当り	7.06	4.69	7.90	2.50	3.50	6.67	4.33	3.00	0.00	1.00	12.00
咽頭結膜熱	報告数	18	13	3	7	2						1
	定点当り	0.50	0.36	0.30	1.17	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	187	148	70	16	16	26	4	6		6	4
	定点当り	5.19	4.11	7.00	2.67	4.00	8.67	1.33	1.50	0.00	1.50	4.00
感染性胃腸炎	報告数	139	132	26	20	6	20	31	10		17	2
	定点当り	3.86	3.67	2.60	3.33	1.50	6.67	10.33	2.50	0.00	4.25	2.00
水　痘	報告数	4	7	6							1	
	定点当り	0.11	0.19	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	153	113	23	25	13	5	10	11		22	4
	定点当り	4.25	3.14	2.30	4.17	3.25	1.67	3.33	2.75	0.00	5.50	4.00
伝染性紅斑	報告数	2										
	定点当り	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	14	6	1	4		1	1		1	
	定点当り	0.42	0.39	0.60	0.17	1.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	114	104	20	42	4	3	26	3		2	4
	定点当り	3.17	2.89	2.00	7.00	1.00	1.00	8.67	0.75	0.00	0.50	4.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.06	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	2	4	3	1							
	定点当り	0.33	0.67	1.00	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3	1	1								
	定点当り	0.43	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点：58、小児科定点：36（インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる）、眼科定点：6、基幹定点：7

●全数把握対象疾患累積報告数（2024年 第1週 ～29週 保健所受理分）

2類感染症	結核	60例(8)					
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例					
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例	
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	9例	
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例	
	侵襲性肺炎球菌感染症	9例	水痘（入院例）	4例	梅毒	90例(2)	
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	2例	百日咳	38例	

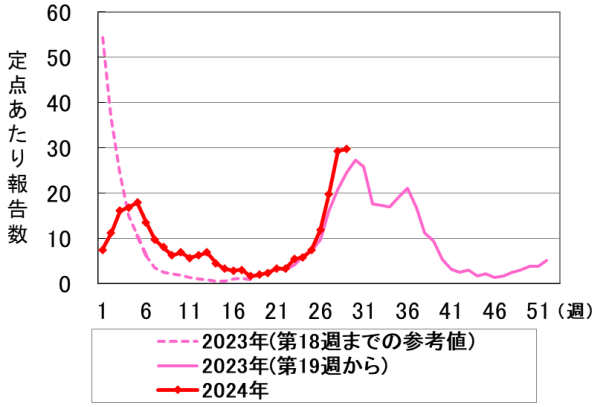
（　）内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 29 週、全国第 28 週（再掲）》

□ 県内第 29 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

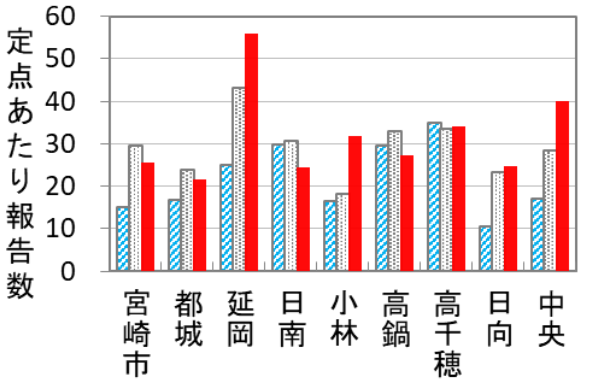
7 月 15 日～7 月 21 日までの 1 週間で 1,724 人(29.7)の報告があった。前週比 101%とほぼ横ばいで、延岡(55.9)、中央(40.0)、高千穂(34.0)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症　発生状況



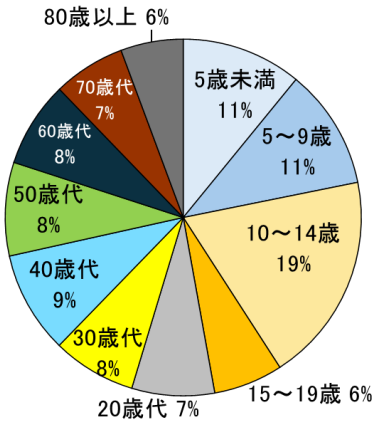
※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

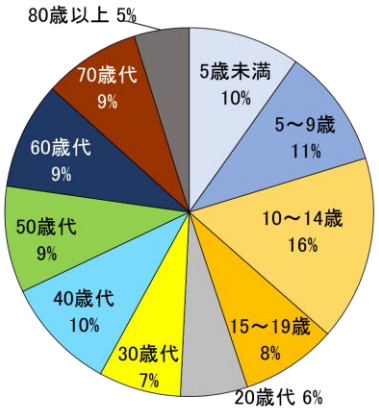


新型コロナウイルス感染症　年齢群別グラフ

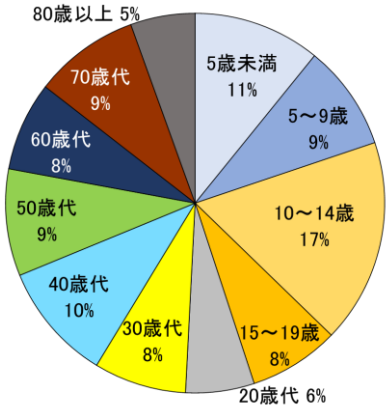
第 27 週



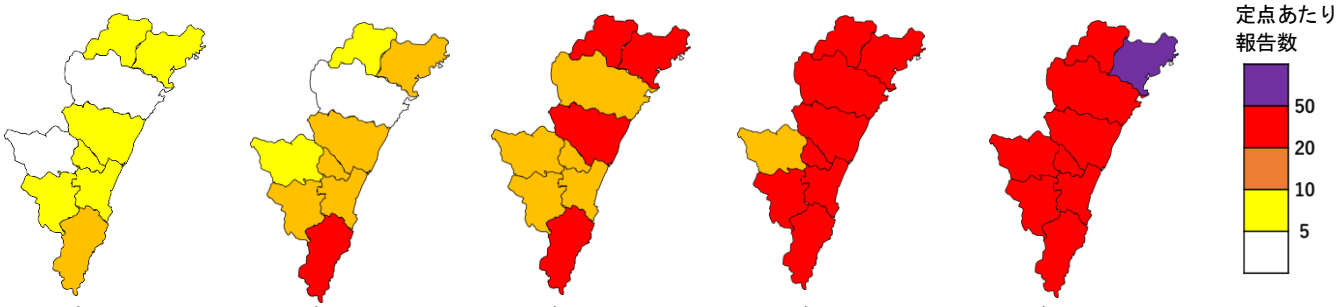
第 28 週



第 29 週



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ　2024 年第 25 週～2024 年第 29 週



2024 年 25 週（県全体 7.4）　2024 年 26 週（県全体 11.8）　2024 年 27 週（県全体 19.7）　2024 年 28 週（県全体 29.3）　2024 年 29 週（県全体 29.7）

＊　県独自の基準によるもの

□ 全国第 28 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

7 月 8 日～7 月 14 日までの 1 週間で 55,072 人(11.2)の報告があった。前週比 139%と増加し、鹿児島県(31.8)、佐賀県(29.5)、宮崎県(29.3)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。